

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
長岡防災シビックコア地区

平成24年2月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地域防災訓練参加者数	人/年	5,659	6,200	17,289	確定 見込み ●	○	あり なし	10,443	H23年4月	○	災害の影響を受け、予定していた訓練が延期されたため ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	中越地震等の度重なる過去の被災経験に加え、防災をテーマにしたまちづくりの推進により、継続的な防災意識の啓発、地域防災リーダーを中心とした人材育成等の成果が表れている。
指標2	長岡市消防本部庁舎見学者数	人/年	2,139	2,350	7,332	確定 見込み ●	○	あり なし	4,727	H23年4月	○	評価値の見込み推計で、減少傾向を考慮しなかったため、差異が生じた ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	免震構造や高機能指令センター等、最新機能を備える消防本部庁舎をいつでも自由に見学することができ、消防防災活動がより身近に感じられるようになった。
指標3	公園利用者数	人/日	0	1,400	1,495	確定 見込み ●	○	あり なし	1,135	H23年10月	△	東日本大震災の影響によるイベントの自粛、公園の夜間照明の節電により、利用が減ったため ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	まちなかのオープンスペースとして、災害時に限らず、日常利用や各種イベント会場等、幅広い活用が期待されており、市民の憩いの場として利用が増加している。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	市民生活の安全性(アンケート結果)	%	-	/	95	確定 ● 見込み	/	/	-	H 年 月	/	-	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標2	防災意識(アンケート結果)	%	-	/	92	確定 ● 見込み	/	/	-	H 年 月	/	-	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標3	まちの魅力(アンケート結果)	%	-	/	92	確定 ● 見込み	/	/	-	H 年 月	/	-	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標4	防災イベントなどへの参加意識(アンケート結果)	%	-	/	95	確定 ● 見込み	/	/	-	H 年 月	/	-	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	防災性の向上	①防災フェアを始めとした集客イベントの実施 ②東日本大震災の現地支援や雪害対策等の実災害におけるボランティアセンターの開設 ③防災関係団体(民間)の拠点設置、並びに防災安全大学の講座開催や携帯端末を活用してメール配信する地域の現在情報(災害・防災・防犯・交通情報)の発信等、広域的な防災防犯活動等の実施 ④中高校生を対象にした宿泊体験型教室の実施等、行政で行う消防・防災教育の実施	①多地域、多世代、多国籍、多業種による防災、交流、被災経験の伝承をテーマにした市民参加型イベントの実施により、関係機関の連携や民官の協力体制が一層推進された。 ②実災害の活動拠点となり、被災経験を生かした迅速かつ効果的な支援や災害対策を行うことができた。 ③市内の3大学1高専と連携した高度な防災知識の普及により、地域防災リーダーの育成が進み防災力が向上した。また、現在情報の発信により、住民の安全性が向上した。 ④未来の後継者に対する啓蒙の取り組みにより、防災や安全に対する理解が深まった。	①防災活動の継続的な取り組み
	交通アクセス性の向上	①国の地方合同庁舎、交流広場、市民防災公園、花テラス、市民防災センター、消防本部庁舎、バスターミナル等の相互利用協定の締結 ②観光バス及びイベント時のシャトルバス等、大型バスの発着拠点として活用	①日々の状況に応じた必要駐車スペースの確保によって、路上駐車や周辺道路の渋滞解消に繋がった。 ②大型バスの発着拠点となり、交通拠点性が向上した。さらに交通拠点性の向上により、環境に配慮したパーク・アンド・バスライドの意識啓発に繋がった。	①地区全体の連携強化に向けた検討
	コミュニティ性の向上	①花いっぱいフェア、周年祭等、集客イベントの実施 ②花づくりに関する教室や子育て支援イベント等の定期的な開催	①市民が種から育てた花の開花時期に合わせた体験型イベントの実施により、地域のコミュニティ性が向上した。 ②世代を問わずに平常時の利用を促進し、市民の憩いの場として利用され、広く親しまれている。 ①②防災の観点においても、花づくり交流を通じた人と人の絆の構築により、共助の精神の醸成に繋がっている。	①公園利用にかかる降雪期の利用促進方策の検討 ②地区全体の連携強化に向けた検討
改善策	-	-	-	-
・まちづくりの目標を達成するための改善策	-	-	-	-
・残された課題・新たな課題への対応策	-	-	-	-
・その他 必要な改善策	-	-	-	-

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
降雪期の利用促進方策の検討	積雪によって活用が難しい芝生広場や交流広場の利用促進方策を検討する。	平成24年度～	芝や施設等、維持管理との兼ね合いや利用者の安全性の確保、及び利用時の公平性の確保
地区全体の連携強化に向けた検討	地区の一体的な利用に向けた民間法人と行政の連携強化、及び効率的な情報共有と効果的なPRに向けた検討を行う。	平成24年度～	民間法人と行政の効果的な連携に向けた合理性、効率性の確保
-	-	-	-

# 都市再生整備計画(精算報告)

ながおか ぼうさい  
長岡防災シビックコア地区 ちく

にいがた 新潟県 ながおか 長岡市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	長岡防災シビックコア地区	面積	11.5 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

### 目標

新潟県中越大地震の被災者を中心とした住民による「新たなまちづくり」と同地区における「長岡防災シビックコア地区整備計画」とのコラボレートによる『住民参加による新たな広域防災拠点の形成』。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

○長岡市は、長岡地方拠点都市地域の中心都市として、国や県の主要な機関が集積し、広域行政サービスの中心的な役割を担ってきた。

○しかし、近年の長岡市の中心部においては、公共施設の郊外化など空洞化が進展する一方、多くの国及び県の機関は、市内各所に分散し、土地利用の効率性や行政サービスの利便性が十分に発揮されていない状況にあった。

○平成15年度に「長岡市中心市街地構造改革会議」を設置し、1年間7回にわたり、地元有識者、学識経験者等による会議を開催。同会議における提言の中で、長岡防災シビックコア地区の整備にあたり、広域防災拠点、広域行政サービス拠点としての方向性が示された。

○これを受けて、同地区を対象に「長岡地域の防災性の向上と快適な都市生活を支える広域拠点の形成」を目標とする「長岡防災シビックコア地区整備計画」を策定し、平成17年11月、国の同意を得たところである。

○平成16年10月に長岡広域圏を襲った新潟県中越大地震により、多くの被災された市民を救済するため、市内各所に仮設住宅が建設され、同地区においても、多くの仮設住宅が建設された。

○同地区に整備した仮設住宅の入居期間が平成18年12月で満了となることから、同地区に被災者支援のため罹災者公営住宅を新たに整備し、被災者の自立・復興に向けた支援を行うこととしている。

#### 課題

○長岡市では、新潟県中越大地震の被災者支援のため、同地区に罹災者公営住宅を新たに整備することとしており、被災住民による自立・復興に向けた「新たなまちづくり」が課題となっている。

○また、被災住民による「新たなまちづくり」と同地区を対象として計画した「長岡防災シビックコア地区整備計画」に基づく各種事業との有機的な連携も課題となっている。

#### 将来ビジョン(中長期)

新潟県中越大地震の被災住民による「新たなまちづくり」と「長岡防災シビックコア地区整備計画」とのコラボレートにより、『住民参加による広域防災拠点』を形成する。

被災住民の「新たなまちづくり」の一環として、同地区に整備する長岡市消防本部庁舎において地域防災訓練等を積極的に開催するなど、『住民参加による広域防災拠点』を形成し、最終的に、同地区住民だけでなく全市民を対象とした「広域防災拠点の形成」を目指す。

### 目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地域防災訓練参加者数	人/年	長岡防災シビックコア地区で開催する市民向けの年間防災訓練参加人数(従前値は、町内会に向いて実施している防災訓練における参加者数)	長岡防災シビックコア地区において市民等を対象とした防災訓練を開催することにより、『住民参加による広域防災拠点』の形成を図る。	5,659	平成16年度	6,200	平成22年度
長岡市消防本部庁舎見学者数	人/年	長岡防災シビックコア地区に移転する長岡市消防本部庁舎の年間見学者数(従前値は、現長岡市消防本部庁舎における見学者数)	長岡防災シビックコア地区に長岡市消防本部庁舎を移転し、多くの見学者を受け入れることにより、『住民参加による広域防災拠点』の形成を図る。	2,139	平成16年度	2,350	平成22年度
公園利用者数	人/日	基準日(土・日曜日)における市民防災公園の利用者数	長岡防災シビックコア地区に市民防災公園を整備し、住民に防災というキーワードに親しんでもらうことにより、『住民参加による広域防災拠点』の形成を図る。	0	平成16年度	1,400	平成22年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1（中越大震災の被災住民による「新たなまちづくり」） ・罹災者公営住宅、道路、公園等の社会基盤施設等を整備し、長岡防災シビックコア地区に被災住民による自立・復興に向けた「新たなまちづくり」を行う。	<b>【基幹事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)溝橋袋町線整備事業（電線共同溝を含む）</li> <li>・(都)千歳南町線整備事業（電線共同溝を含む）</li> <li>・歩道照明施設整備事業</li> <li>・交流広場整備事業</li> <li>・バスターミナル整備事業</li> <li>・シビックコア地区サイン整備事業</li> </ul> <b>【提案事業】（事業活用調査）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢づくり空間等活用調査事業</li> <li>・防災機能整備活用事業</li> <li>・シビックコア地区交通対策事業</li> <li>・事業効果分析調査事業</li> </ul> （まちづくり活動事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・中越地震被災者交通対策事業</li> <li>・シャトルバス運行社会実験事業</li> <li>・花づくり交流事業</li> </ul> （地域創造支援事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路緑地整備事業</li> <li>・防災意識啓発事業</li> <li>・シビックコア地区サイン計画策定事業</li> </ul> <b>【関連事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市民防災公園整備事業</li> <li>・長岡市消防本部庁舎移転整備事業</li> <li>・罹災者公営住宅整備事業</li> <li>・緑花センター整備事業</li> <li>・パークアンドバスライド駐車場整備事業</li> </ul>
整備方針2（長岡地域の防災性の向上と快適な都市生活を支える広域拠点の形成） ・同地区を対象とした「長岡防災シビックコア地区整備計画」に基づき、長岡地域の防災性の向上と快適な都市生活を支える広域拠点の形成を図る。	<b>【基幹事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)溝橋袋町線整備事業（電線共同溝を含む）</li> <li>・(都)千歳南町線整備事業（電線共同溝を含む）</li> <li>・歩道照明施設整備事業</li> <li>・交流広場整備事業</li> <li>・バスターミナル整備事業</li> <li>・シビックコア地区サイン整備事業</li> </ul> <b>【提案事業】（事業活用調査）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢づくり空間等活用調査事業</li> <li>・防災機能整備活用事業</li> <li>・シビックコア地区交通対策事業</li> <li>・事業効果分析調査事業</li> </ul> （まちづくり活動事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・中越地震被災者交通対策事業</li> <li>・シャトルバス運行社会実験事業</li> <li>・花づくり交流事業</li> </ul> （地域創造支援事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路緑地整備事業</li> <li>・防災意識啓発事業</li> <li>・シビックコア地区サイン計画策定事業</li> </ul> <b>【関連事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市民防災公園整備事業</li> <li>・長岡市消防本部庁舎移転整備事業</li> <li>・罹災者公営住宅整備事業</li> <li>・緑花センター整備事業</li> </ul>
整備方針3	
<b>その他</b> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 当地域におけるまちづくり活動を推進するため、市が中心となり、国や県をはじめとする関係機関と連携をとりながら、継続的なまちづくり活動を行う。  ○交付期間中の計画の管理について 計画の進捗管理については、市広報紙を通じて、随時、進捗状況について情報公開を行い市民の意向に沿った計画管理を行う。	

